

10. 群馬県 (Gunma Pref.)

作成者: 松村行栄¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	E	ヒメシロチョウ	—	—	下仁田町神津牧場, 沼田市 下川田(1970年代), 粕川村 (一例のみ), 嬭恋村鹿沢温 泉, 高山村	1970年代以降記録なし	山地草原の開発による発生地 の消失	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EX	ア	EX	ヒメヒカゲ	—	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村 (北軽井沢, 湯の丸牧場), 松井田町恩賀	近年認められず	キャンプ場造成のため発生地 消滅	群馬県評価: 絶滅
EX	ア	EX	ヒョウモンモドキ	—	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村 新軽井沢, 六合村暮坂峠, 月夜野町大峰山	1966年以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価: 絶滅
EX	ア	EX	オオウラギンヒョウモン	—	—	榛名町榛名山, 高崎市観音 山, 館林市渡良瀬川, 嬭恋 村(新軽井沢, 北軽井沢, 千 俣), 水上町蓬峠	1959年以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価: 絶滅
EX	ア	EX	シルビアシジミ	—	—	新町神流川, 伊勢崎市利根 川, 粕川村, 大泉町, 板倉 町, 館林市, 前橋市	1970年頃まで見られたが, 近年認められず	堤防改修による食草の減少	群馬県評価: 絶滅危惧 類 (1999年に安中市に 生息との情報があったが, 再確認されず疑問視さ れている)
EX	ア	EX	オオルリシジミ	—	—	甘楽町, 下仁田町神津牧場	1960年代以降記録なし	山地草原の開発	群馬県評価: 絶滅
EN	オ	E	ヒメギフチョウ	—	赤城村深山	赤城村津久田, 沼田市, 子 持村, 下仁田町矢川峠	1960年代より記録が途絶え たが, 1981年一部生息確認 。赤城山はかつて多産地であ ったが, 一時絶滅状態で, そ の後再確認された。他の生 息地では未確認	台風による産地の消失, 森 林の伐採, 環境の変化	群馬県評価: 絶滅危惧 類 。群馬県指定天然記念物 (1986年)
EN	オ	V	ツマグロキチョウ	—	桐生市梅田町・菱町, 高崎 市乗附町	藤岡市, 多野郡山地, 沼 田市白石町, 下仁田町	1998年に桐生市で記録	堤防の改修による食草の喪 失, 林道拡幅による食草の 喪失	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	オ	V	ヤマキチョウ	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村 鹿沢, 下仁田町神津牧場	赤城村深山, 榛名町榛名 山, 川場村	近年減少, 赤城山では認め られず	生息地の伐採	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	ク	V	ミヤマシロチョウ	—	嬭恋村鹿沢温泉・湯の丸山 ・地蔵峠	—	1970年代より減少	生息地の開発(スキ - 場化) 等による食草の減少, 環境 の変化	群馬県評価: 絶滅危惧 類 。群馬県指定天然記念物 (1977年)
EN	ソ, ツ	V	クロヒカゲモドキ	—	吾妻郡山地, 月夜野町大峰 山, 水上町武尊山	法師温泉, 四万温泉, 赤 城山	1980年代以降減少	山地の開発による生息地の 縮小	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	ソ, ツ	V	オオヒカゲ	—	長野原町川原湯, 吾妻町萩 生, 六合村, 月夜野町大峰 山, 水上町武尊山	—	近年個体数減少	山地の開発による生息地の 縮小	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	ソ, ツ	V	キマダラモドキ	—	長野原町北軽井沢・茨城山, 沼田市迦葉山, 利根郡片品 村	—	近年個体数減少	山地の開発による生息地の 縮小	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	ソ, ツ	E	オオイチモンジ	—	片品村丸沼, 仁下又沢	—	1986年 - 1989年数頭の目撃 記録あり	生息環境の急変	群馬県評価: 絶滅 。群馬県指定天然記念物 (1977年)
EN	オ	V	クロミドリシジミ	—	赤城村	渋川市神田原・大日向・中 野, 沼田市下川田町, 月夜 野町, 吾妻町, 高山村, 伊香 保町大日向	1970年代以降減少, 現在 はどの産地も1~2頭の記録 があるのみ。1997年に赤城 村で記録	生息地の伐採(ゴルフ場, レジャ - 施設化)	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	オ	R	ハヤシミドリシジミ	—	長野原心桑	榛名山, 赤城山, 長野原町 川原湯, 片品村, 黒保根村	近年個体数減少	スキ - 場, レジャ - 施設化 による食樹の伐採	—

10. 群馬県 (Gunma Pref.)

作成者: 松村行栄¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EN	オ	E	クロシジミ	—	吉井町	桐生市相生町・丸山(1966年以降未記録), 藤岡市庚申山, 沼田市戸神山, 粕川村, 渋川市金島(1953年), 伊香保町大日向, 高崎市観音山等, 榛東村, 太田市金山, 伊勢崎市豊城町	1996年に吉井町で一個体記録	雑木林の喪失, 農業空中散布により絶滅, 宅地開発	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	オ	V	ゴマシジミ	—	赤城山, 沼田市迦葉山	長野原町北軽井沢, 嬭恋村新鹿沢, 六合村太原, 新治村, 片品村武尊, 下仁田町神津牧場	1970年代より減少	スキ - 場などの開発の影響	群馬県評価: 絶滅危惧 類
EN	ソ, ツ	EX	チャマダラセセリ	—	長野原町二度上峠	長野原町北軽井沢, 沼田市(横塚)	1996年頃, 長野原町での目撃記録が最後	生息に適した草原の消滅	群馬県評価: 絶滅危惧 類
VU	カ	—	スジボソヤマキチョウ	—	神津牧場, 北軽井沢, 鹿沢高原	—	近年個体数減少	開発行為, 伐採植林行為	群馬県評価: 準絶滅危惧
VU	カ	R	ウラジャノメ	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村旧軽井沢, 片品村, 黒保根村等	—	近年産地減少	安定した食草の消失	—
VU	オ	V	コヒョウモンモドキ	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村新鹿沢茨木山・四阿山等	赤城村赤城山, 榛名町榛名山	1970年代より減少	山地草原の開発	群馬県評価: 絶滅危惧 類
VU	カ	R	フタスジチョウ	—	長野原町北軽井沢, 嬭恋村旧軽井沢, 水上町	下仁田町神津牧場, 吾妻郡嬭恋村鹿沢温泉	近年個体数減少	棲息地の開発による環境変化	群馬県評価: 準絶滅危惧
VU	カ	V	ムモンアカシジミ	—	吾妻町萩生, 六合村, 利根村根利, 新治村, 片品村, 伊香保町, 渋川市大日向	渋川市御陰, 沼田市横塚町	近年産地減少	山地の開発による生息地の縮小	群馬県評価: 絶滅危惧 類
VU	カ	R	オナガシジミ	—	県北部・中部	—	オニグルミは広く分布するが成虫は限られる	川沿いの道路の発達による交通量の増加, 幼木の減少	—
VU	コ	R	ウラジロミドリシジミ	—	榛名町榛名山, 長野原町川原湯	—	近年個体数減少	スキ - 場, レジャ - 施設化による食樹の伐採	群馬県評価: 絶滅危惧 類
VU	コ	R	オオゴマシジミ	—	上信越県境, 片品村菅沼周辺等	赤城村赤城山	赤城山では1965年以降確認なし	赤城山では河川周辺のコンクリ - ト化で激減, 県境産地はスキ - 場開発等により減少する可能性がある	群馬県評価: 絶滅危惧 類
VU	カ	V	アサマシジミ	—	長野原町川原湯, 吾妻町, 高山村, 昭和村等	伊香保町, 富士見村・赤城村深山, 藤岡市上日野, 大間 - 町	近年個体数減少	別荘地化, 宅地化等による食草の減少	群馬県評価: 絶滅危惧 類
NT	キ	R	ミドリシジミ	—	赤城村赤城山, 桐生市, 館林市, 板倉町	—	1970年以降激減. 特に低山地での減少が著しい	低地ではハンノキ林の宅地化で産地減少, 山地では開発で減少	—
NT	キ	V	クロツバメシジミ	—	利根村平川・根利・奈良, 下仁田町等, 吾妻町	—	近年個体数減少. 新棲息地が多数発見されている	道路拡張による生息地の破壊	群馬県評価: 絶滅危惧 類
NT	キ	V	ミヤマシジミ	沼田市	玉村町利根川流域	桐生市本宿町・相生町(渡良瀬川堤防), 藤岡市神流川	1970年代から減少. 沼田市では2000年, 2001年も確認	堤防の改修による食草の喪失, 及び近隣雑木林の伐採による環境の変化	群馬県評価: 絶滅危惧 類
NT	キ	R	アカセセリ	—	榛名町榛名山, 長野原町, 北軽井沢, 六合村, 利根片品村等	—	榛名山では多産したが近年稀	開発	群馬県評価: 絶滅危惧 類
DD		—	アサマイチモンジ	—	—	藤岡市藤岡	近年見られなくなった	—	—
DD		—	ホシミスジ	—	榛名町榛名山	—	近年個体数減少	—	—

1) 〒375-0024群馬県藤岡市藤岡827-5